




# インターフェイス TX の使用率

・ [インターフェイス TX の使用率](#) (1 ページ)

## インターフェイス TX の使用率

このアラームは、送信トラフィック情報をモニターし、インターフェイスの TX 使用率が指定した範囲外の場合にトリガーされます。このアラームを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 メインウィンドウで、 > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] の順にクリックします。
- ステップ 2 [ポリシーを追加 (Add Policy)] をクリックします。
- ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドでポリシー名を入力します。
- ステップ 4 [トリガー (Triggers)] で、[ルールを追加 (Add Rules)] をクリックします。
- ステップ 5 [インターフェイス TX の使用率 (Interface TX Utilization)] をクリックします。
- ステップ 6 [Next] をクリックします。
- ステップ 7 デフォルトでは、ルールが有効になっています。ルールをまだ使用しない場合は、スイッチを [無効 (DISABLED)] に切り替えます。
- ステップ 8 このアラームをトリガーする使用率の範囲を示すには、スライダを使用します。使用率が赤色と ALARM テキストで示される範囲内にある場合、Crosswork Cloud から通知が届きます。
- ステップ 9 [重大度 (Severity)] ドロップダウンリストで、このアラームに定義する重大度を選択します。
- ステップ 10 その他の必要なインターフェイスおよびエンドポイント通知の設定を行い、[保存 (Save)] をクリックします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。